

令和2年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら令和2年度事業を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症緊急対策として、年会費免除及び補助事業を実施した。

○新型コロナウイルス感染症に係る県貿易協会緊急対策

① 県貿易協会年会費の免除

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気の悪化等を踏まえ、定款第7条の1種会員及び2種会員の年会費免除を実施した。

【実績】

免除額：2,850,000円

（内訳）1種会員：31社・団体 930,000円

2種会員：80社・団体 1,920,000円

② 会員向け補助事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた商流の維持・確保等に対応し、会員の海外展開を支援するため、貿易に係る商談やプロモーション費用の補助を実施した。

【助成実績】

件数・金額：12件 572,931円

内 容：オンライン商談用機材、展示会出展に係る航空券代等

○令和2年度事業

1 かごしま海外ビジネス支援事業

(1) 貿易相談事業

県内企業等の海外事業展開を支援するため、実務、金融、通関等の分野からなる貿易アドバイザー等による貿易相談を実施した。

海外ビジネス支援センター貿易相談件数：373件

【貿易アドバイザー：4名】

分野	会社名	職名	氏名
実務	弓場貿易(株)	代表取締役社長	弓場 秋信
金融	(株)鹿児島銀行	地域支援部次長兼国際ビジネス推進室長	久保 敏也
通関	鹿児島陸運運送(株) (株)共進組	外航グループ通関チーム長・通関士 谷山港支店海外営業部部長	今村 賢太 梅木 洋一郎

(2) 海外商談会等開催事業

本県とアジアをはじめとする海外との貿易促進を図るため、国内外バイヤーとの商談会等を開催した。

① 海外バイヤー向けオンライン商談

新型コロナウイルス感染症の影響によって対面式商談会の延期・中止が相次いでいる現状に鑑み、海外における県産品の認知度向上及び販路開拓を促進するため、ウェブを活用した海外バイヤーとの商談を開催した。

【第1回】

日時：令和2年10月8日（木）～11月12日（木）計7日

商談相手：海外バイヤー4社（中国2社、マカオ1社、シンガポール1社）

主催：鹿児島県、（公社）鹿児島県貿易協会

参加企業：県内企業14社（23商談）



**県内企業がネット商談
海外バイヤー4社にPR**

県など初企画
来月まで7回

鹿児島県は8日、海を中心に県内14事業者が、対面商談会の中止や外バイヤーと県内企業、中国やシンガポールなどのオンライン商談会を、どのバイヤー4社各自開始。11月まで7回、社産品をPRする。新型コロナウイルスを予定、食品製造業を

オンラインで自社商品を紹介する参加企業
＝8日、鹿児島県庁

産加工や焼酎メーカーなど3事業者が、鹿児島市の県庁でマカオと結び、40分ずつの商談に臨んだ。

指宿市の唐船食品は、めんつゆやサツマイモ乾燥、紫芋チップなどを紹介した。営業部の前原善博課長（48）は「オンライン商談は初めてだが、対面と変わらない印象。将来を見据え、新たな販路ができた。現地の和食食品貿易有限公司の佐藤友和社長（37）は「農業県鹿児島は、いいものが多い。新型コロナウイルスで消費が弱く、単価が高い水産品や加工品は伸びる余地があるのではないか」と語った。

（上坂屋佳佳）

【第2回】

日 時：令和2年12月15日（火）～令和3年2月26日（金）計10日

商談相手：海外バイヤー6社

（香港1社，マレーシア1社，シンガポール4社）

主 催：鹿児島県，（公社）鹿児島県貿易協会

参加企業：県内企業16社（33商談）



② 国内バイヤー向けオンライン商談

食品の海外輸出実績のある国内商社と，国内商社を通じた食品の輸出に関心のある事業者とのマッチング商談会を開催した。

日 時：令和2年11月17日（火）・18日（水）

商談相手：国内バイヤー7社

主 催：日本貿易振興機構（JETRO）鹿児島貿易情報センター

共 催：鹿児島県，（公社）鹿児島県貿易協会

参加企業：県内企業18社（29商談）

(3) かごしまブランド海外展開推進事業

海外における県産品の販路拡大やかごしまブランドの構築のため，海外の高級スーパーマーケット等で渡航を伴わない形での「鹿児島フェア」を開催した。

① マカオの百貨店での「鹿児島フェア」

マカオ最大の百貨店である「ニューヤオハン」において，本県地域商社が実施する鹿児島フェアを支援した。[3回目]

期 間：令和2年6月17日（水）～30日（火）[14日間]

場 所：ニューヤオハン

参加企業：県内企業28社（138商品）

販売品目：農産物，畜産物，水産物，焼酎，調味料，菓子等

② シンガポール・香港・タイの日系量販店での「鹿児島フェア」

国内大手小売 PPIH (パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス) が東南アジアを中心に展開する「DON DON DONKI」において、鹿児島フェアを開催した。

[2回目/令和元年度はシンガポールのみで実施]

期 間：令和3年2月27日(土)～28日(日) [2日間]

場 所：シンガポール(8店舗)、香港(7店舗)、タイ(2店舗)

販売品目：青果物、畜産物、水産物、加工品等



③ 台湾の高級スーパーでの「鹿児島フェア」

本県農林水産物の輸出先第4位である台湾市場において、県産品の販路拡大を図るため、日本食品を多数取り扱う高級スーパーでの鹿児島フェアを開催した。[6回目]

期 間：令和3年3月12日(金)～14日(日) [3日間]

場 所：裕毛屋(台中市内1店舗)

参加企業：県内企業7社

販売品目：農産加工品、調味料、麺類等



④ 米国の日系スーパーでの「鹿児島フェア」

日本産農林水産物・食品の主要輸出先であり、本県農林水産物の最大輸出先でもある米国市場において、本県産品の販路拡大を図るため、現地日系スーパーマーケットでの鹿児島フェアを開催した。[10回目]

期 間：令和3年3月26日（金）～31日（水）[6日間]

場 所：ニジヤマーケット（カリフォルニア州内10店舗）

参加企業：県内企業約40社（約85商品）

販売品目：農産物，畜産物，水産物，調味料，麺類，茶，菓子等

そ の 他：ニジヤマーケット情報誌「ご馳走マガジン」への広告掲載

掲載時期：2021年春号（3月発行）

発行部数：約3万部（全48ページ）



⑤ 2020 かがしまの新特産品コンクール

当協会から弓場副会長が審査員として審査を行い、以下商品が「鹿児島県貿易協会会長賞」を受賞した。

日 時：令和2年11月30日（月）

場 所：鹿児島サンロイヤルホテル

<p>【食品部門】 デキャンタージュ熟成かんぱち とろ～り、濃厚。日本一のカンパチ大国・鹿児島ブランド魚「かのやかんぱち」を、独自の熟成技術「デキャンタージュ製法」で6日間熟成。旨味を極限まで高めました。 《PLOW A LAND 株式会社》</p>	
<p>【工芸部門】 化粧品ツバキバーム たっちゃん農園のツバキバームは南国の太陽と桜島の土壌が育てた安心安全な椿油を使用し、髪・つめ・唇・カサつきが気になるお肌などに艶と潤いを与えます。 《たっちゃん農園》</p>	

(4) 管理運営事業

かがしま海外ビジネス支援センターライブラリーと協会ホームページにより、貿易関係の情報発信強化を図った。

① かがしま海外ビジネス支援センターライブラリーの運営

日本貿易振興機構（ジェトロ）鹿児島貿易情報センターとの共同管理により、かがしま海外ビジネス支援センターライブラリーを運営し、一般の閲覧に供し、貿易関係の最新情報の提供を行った。

② ホームページによる情報発信

貿易協会のホームページにより最新の情報発信の強化を図った。



2 貿易振興事業

貿易関係の各種協議会との情報交換や連携を通じ、協会活動の充実強化を図った。

令和2年	4月22日	志布志港ポートセールス推進協議会総会（書面）
	5月7日	川内港整備促進期成会（書面）
	5月11日	鹿児島空港国際化促進協議会幹事会（書面）
	5月15日	日本関税協会長崎支部総会（書面）
	5月22日	薩摩川内市貿易振興協会総会（書面）
	5月25日	鹿児島空港国際化促進協議会総会（書面） 川内港整備促進期成会（書面）
	6月22日	鹿児島県開発促進協議会総会（書面）
	7月2日	川内港地域活性化協議会
	7月6日	鹿児島港利用促進協議会（書面）
	7月27日	鹿児島県特産品協会総会（書面）
	10月15日	川内港地域活性化協議会 次世代型林産品輸出システム検討会
令和3年	3月8日	鹿児島県・長崎税関行政連絡会（書面）

3 情報活動事業

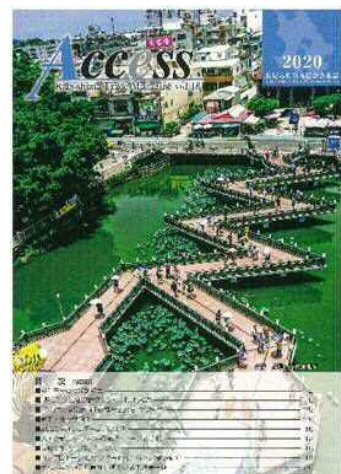
情報誌やメーリングリストでの海外情報や商談会等の情報発信や、国内外バイヤーへの県内企業の商品情報発信により、企業の海外進出を支援した。

(1) 貿易情報誌発行

海外情報や海外駐在員レポート、海外展開関連補助・助成制度の情報等を掲載した会員向け情報誌「ACCESS」（年刊）を発行したほか、商談会やセミナー等の情報を掲載した「貿易ニュース」（月刊ウェブ配信）を発行し、貿易関連の情報発信を行った。

(2) メーリングリストによる情報発信

メーリングリスト登録者（約200個人・団体）に対し、セミナーや見本市等の情報発信を随時実施した。



(3) 県内企業商品パンフレット提供事業

輸出を希望する県内企業の一押しの商品をまとめたパンフレットを作成し、海外バイヤー等に提供することにより、本県産品の販路拡大を図った。

参加企業：県内企業 44 社

提供先：国内外バイヤー58 社



(4) バイヤー関心品目情報提供事業

輸出に取り組む県内企業に対して、国内外のバイヤーが希望する商品情報を提供することにより、本県産品の既存商流の維持と販路拡大を図った。

参加バイヤー：国内外バイヤー10 社

申込企業数：県内企業 13 社

4 貿易研修事業

鹿児島県内貿易関係者の資質の向上に資するため、日本貿易振興機構（ジェトロ）鹿児島貿易情報センター等と連携し、オンラインを活用したセミナーや貿易実務講座等を開催した。

(1) 焼酎輸出促進セミナー

日時：令和2年8月6日（木）14:00～16:00

場所：オンラインライブ配信

内容：①日本産酒類輸出についてのジェトロ取組

②コストシュミレーションによるマーケット戦略

講師：①ジェトロ農林水産・食品部 加工食品・酒類支援課 杉野 浩史

②ジェトロ輸出プロモーター（農林水産・食品分野） 渡邊 大

参加者：54 名

(2) 基礎から始める商談スキルセミナー

日 時：令和2年8月25日（火）14:00～16:00

場 所：オンラインライブ配信

内 容：オンライン商談におけるポイントを踏まえた、商談前の基礎知識から商談後の対応について

講 師：ジェトロ新輸出大国コンソーシアム パートナー 小杉 一郎

参加者：25名

(3) 海外アドバイザーセミナー

日 時：令和2年9月18日（金）14:00～15:35

場 所：オンラインライブ配信

内 容：新型コロナウイルス感染症拡大によるベトナム及びミャンマーのビジネス環境の変化について

講 師：ジェトロハanoi事務所 EPA アドバイザー 奥澤 正樹

ジェトロヤンゴン事務所海外投資アドバイザー 草刈 貴

参加者：38名

(4) シンガポールオンラインセミナー

日 時：令和2年10月2日（金）14:00～15:30

場 所：オンラインライブ配信

内 容：シンガポールにおける新型コロナウイルス感染症の状況や生活習慣の変容、及び新しいビジネスの展望

講 師：県ASEAN ディレクター シュー・ユエンシャオ・ケナード

参加者：18名



(5) 日本と諸外国のEPAの概要や活用メリットについて

日 時：令和2年12月4日（金）14:00～15:30

場 所：オンラインライブ配信

内 容：経済連携協定（EPA）の利点や活用方法について

講 師：ジェトロ海外調査部 上席主席調査研究員 長島 忠之

参加者：20名

(6) 貿易実務講座（全3回）

日 時：①令和2年12月18日（金）14:00～16:15

②令和3年1月14日（木）14:00～16:15

③令和3年1月21日（木）14:00～16:15

場 所：オンラインライブ配信

対 象：新たに貿易に携わる方から実務経験2～3年の方

内 容：貿易に関する基礎から実務的な内容について

講 師：NPO法人ごわず代表理事 兼 Innoplan Singapore CEO 金子 幸博

参加者：累計43名



5 貿易概況調査

鹿児島県の貿易に関する動向及び新型コロナウイルス感染症の影響について把握するため、定期的に企業ヒアリングを実施し、新型コロナウイルス感染症による県内企業への影響の把握に努めた。